

ゆう・ゆう

社会福祉法人 育成会
いわき市常磐下船尾町東作51
TEL (0246) 43-4466
FAX (0246) 43-0056

発行責任者
理事長 高村 トミ子

育成会ホームページQR
<https://www.ikuseikai.com>



みなみテラス



いわき学園

力を合わせて!

令和3年度 自治会役員の皆さん



いわき育成園



いわき希望の園



いわき光成園

理事長就任あいさつ

社会福祉法人育成会 理事長

高村 トミ子

世界的に猛威を奮い、未だ収束の気配を見せぬ新型コロナウイルスの感染対策により、人と接する機会が厳しく制限され、私たちのこれまでの生活が儘ならぬ状況が続ぎ、皆さまにもご不便をおかけしておりますが、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、この度の理事会で私こと三期目の理事長を務めさせていただくこととなりましたので、法人理念である「生涯支援」を旨として、役員、評議員の方々とともに法人の健全経営を担ってまいります。昨年度はいわき育成園増改築事業が完了し、重度高齢化に対応するための環境づくりが整備されたところです。今後は、身近で利用者の方々の意思を育み、くみ取り、叶える支援体制づくりの一番の鍵となる人材の確保ならびに育成が重要な課題となりますので、精一杯注力する所存です。これまでも「くるみんマーク」や「いわき市女性活躍推進企業」の認証を受け、対外的にも職場環境の整備が認められてきたところですが、それに留まらず、コロナ禍であっても職員研修体制の充実を図り、やりがいの醸成やスキル向上をサポートし、働きやすい職場づくりを進めてまいります。



これからも、当法人が長年に亘り取り組んできた在宅者支援を旨とする地域共生を念頭におき、障がいを持つ人たちに寄り添った法人として成長してまいりたいと存じますので皆さまのご指導、ご協力を衷心よりお願い申し上げます。

理事・監事・評議員・相談役紹介

令和三年六月役員改選が行われ、以下のように選任されましたことを報告いたします。

■理事・監事

理事長	高村トミ子
常務理事	佐藤みさ江
理事	上遠野重行
理事	佐藤 妙子
理事	古川 敬
理事	櫛田 守幸
理事	吉村 英博
監事	猪狩 哲也
監事	吉田 猛

■評議員

評議員	渡邊 紘一
評議員	草野 弘道
評議員	稲葉 圭子
評議員	石山 伯夫
評議員	秋山 司
評議員	田中みわ子
評議員	矢沢 絢子
評議員	小野 良宏
評議員	小松 明
相談役	熊谷 繁治
相談役	比佐 臣一

「思いつなげる委員会」委員紹介

第三者委員任期満了により、令和三年四月から三名の方が就任されました。

遠藤 寿海(えんどう としみ)	福島学院大学 教授
田久昌次郎(たきやう しやうじろ)	いわき短期大学 学長
吉津 恭子(きつ きよこ)	オダカート 代表

令和三年度 社会福祉法人育成会 事業計画

1、基本方針

法人設立以来、我国の知的障害者福祉に於ける先駆的な取組を展開する法人であることを誇りとして、法人理念である「人権擁護」と「生涯支援」を意思決定支援に基づき遂行し、多様な福祉サービスを総合的に提供できるように、人材確保と人材育成に努め、創意工夫を凝らした新たな事業活動を創造し、長期に亘る法人全体の健全経営を図る。

2、重点項目

- (1) 有能な人材育成と潤沢な資金確保に基づく安定した法人経営
- (2) グループホーム等の展開による地域生活支援の充実
- (3) 施設整備によるバリアフリー化と支援のスキルアップによる高齢化対策の推進
- (4) 利用契約者の充実による「みなみテラス」の事業安定化
- (5) いわき支援学校、平支援学校、北茨城支援学校、及び関係機関との連携に基づくいわき市南部地域の障害福祉ニーズの発掘
- (6) いわき市、いわき市手をつなぐ育成会、事業所所在地の地域、知的障害者福祉協会等外部団体、育成会協力会等の関係機関との連携強化
- (7) 福利厚生者の充実とやりがいの醸成に基づく働きやすさの創造
- (8) 「みなみテラス」をモデルとした地域共生型事業所の更なる展開に基づく社会貢献活動の充実

「いわき市女性活躍推進企業」認証

令和三年三月十九日に、いわきワシントンホテルにて、いわき市長より「いわき市女性活躍推進企業」の認証書を授与されました。

この認証制度は、平成二十八年に創設され、女性の登用や育成、ワーク・ライフ・バランスの推進等、男女ともに働きやすい職場環境の整備等に取り組む事業所が認証されるものです。これまでの認証企業は三十一企業で、今回の新規認証企業は四企業あり、社会福祉法人としては二法人目の認証となりました。

当法人は現在、管理職の男女比が同等であることや、年次有給休暇の取得のしやすさ、病気やけがの際の特別休暇と医療費の助成、子育てのための休暇や短時間勤務など、男女を問わず、家庭と仕事を両立し生き生きと長く働ける環境を整えており、職員が最高のパフォーマンスを発揮できるような環境づくりが、今回の認証につながりました。今後も、



がいを持って、長くキャリアを積んでいくよう、更なるワーク・ライフ・バランスの充実を図ってまいります。

先駆的取り組みの取材を受けました！

五月十三日、社会福祉法人福島県社会福祉協議会（以下、県社協）より、当法人が実践している「意思決定支援」の取材を受けました。

取材の対象となったのは、通所事業所「いわき学園」の利用者自治会活動として毎月開催されている「さわやか会議」で、その内容は、毎年度に選挙で選任された利用者自治会役員と、管理者、並びに担当職員が構成メンバーとなり、その時々々の検討課題を提示して利用者側、職員側からの意見により様々な改善や目標設定を図っています。

県社協からは、職員一名、カメラマンとアシスタントの二名、ライター一名で、会議中に響くシャッ

ター音や、会議後の県社協職員とライターからの矢継ぎ早の質問にも臆することなく、堂々とした態度で臨んでいたことが大変印象的でした。

昭和六十二年から本格的に開始され三十四年目を迎える当法人の利用者自治会活動は、平成十八年から法人全体の取組みである「本人活動」へと発展を遂げ、知的障害のある方々の特徴でもある「自分の意見を持たない。発言できない。」からの脱却が、具現化されていると感じた取材のひと時でした。

尚、取材内容は、県社協の福祉情報誌「はあとふる ふくしま」七月号に掲載予定です。



未来

育成会に入社して二年目になりました。学校を卒業したての自分に社会人が出来るのかとても不安でしたが、職員の方々温かく迎え入れてくださったことで、何とか一年を終えることが出来ました。二年目は、自分の任された仕事をできる限りミスなくこなし、少しでも早く独り立ち出来るように頑張ります。

社会人になったらまず、温泉旅行に行ってみたいと思っていたのですが、コロナで外出があまりできなくなってしまう、今は温泉の動画をみたり、スーパードで美味しいものを買って食べたり、少し高い入浴剤を買って湯船につかるなど、家でのおんびりすることが趣味になっています。コロナが終わったら、一人旅を試みたいですね。（みなみテラス・からあげ弁当）

じゃんけんぽん!

いわき学園 5月24日

毎月行われるイベント、今回は「じゃんけん大会」でした。皆さん好きな景品を貰い、嬉しそうな様子でした。



はちみつさんとリフレッシュ

いわき育成園 5月26日

音楽療法「はちみつ」さんを招いて、季節の歌や童謡を楽しみました。音にあわせてリズムをとったり、たくさんの楽器にふれてリフレッシュすることができました。



春のスポーツ祭 開催

いわき光成園 5月19日・25日

のびのび館を利用して「春のスポーツ祭」を行いました。19日はフライングディスクとボウリング、25日は玉入れと10m走。好きな競技を選び参加して頂きましたが、なかには2日とも参加の体力自慢も。両日とも歓声や笑顔が溢れるひと時となりました。



癒しの時間です。

いわき希望の園 5月27日

「アニマルセラピー」が行われ、ワンちゃんネコちゃんと穏やかなひと時を過ごしました。アイコンタクトで相思相愛です。



待望のスプリンクラー設置

ライフサポートセンター「ゆう・ゆう」

えぼっく、えぼっくⅡにスプリンクラーが設置され、より一層、安全安心に生活を送ることが出来るようになりました。



野菜VS雑草!!

みなみテラス

みなみテラスで耕している畑では、野菜がすくすく育っています。が、野菜とは比べものにならない勢いで育つ雑草とたたいま格闘中!



いわき学園 菅井精一郎さん

自画像を描いてくれました。かわいいタッチで仕上げました。



編集
後記

夏がもうすぐそこに!
園の入口に植え替えた紫陽花が美しく咲きました。
日々の心配や喧噪を横目に季節は移り時間は刻まれます。今を大切に法人なりの「らしさ」をお伝えできればと思います。